

迷い、悩み、その先へ



強制終了、いつか再起動

吉野 万理子/著
講談社



きみの存在を意識する

梨屋 アリエ/作
ポプラ社



願いごとの樹

キャサリン・アップルゲイト/作
おだか かおる 尾高 薫/訳
偕成社



ロイヤルシアターの幽霊たち

ジェラルディン・マコックラン/著
かねほろ みずひと 金原 瑞人/訳
よしほら なお 吉原 菜穂/訳
小学館



蝶の羽ばたき、その先へ

もりの 森埜 こみち/作
小峰書店



ぼくたちの骨

かしわき あかaki 榎崎 茜/著
講談社

カードの登録・貸出について

●はじめて本を借りるとき

利用者カードの登録をしましょう。
中学生以上の方は学生証・健康保険証など、氏名と住所を証明できる公の書類が必要です。

●貸出について

借りられる期間は2週間です。本・雑誌・紙芝居はあわせて10冊、CDは5点、ビデオテープとDVDはあわせて2点まで貸出できます。

新宿区立図書館一覧

- 中央図書館・こども図書館 大久保 3-1-1 TEL 03-3364-1421
- 北新宿図書館 北新宿 3-20-2 TEL 03-3365-4755
- 四谷図書館 内藤町 87 TEL 03-3341-0095
- 中町図書館 中町 25 TEL 03-3267-3121
- 鶴巻図書館 早稲田鶴巻町 521 TEL 03-3208-2431
- 角筈図書館 西新宿 4-33-7 TEL 03-5371-0010
- 西落合図書館 西落合 4-13-17 TEL 03-3954-4373
- 大久保図書館 大久保 2-12-7 TEL 03-3209-3812
- 戸山図書館 戸山 2-11-101 TEL 03-3207-1191
- 下落合図書館 下落合 1-9-8 TEL 03-3368-6100

Clover2022 令和4(2022)年3月発行 印刷物登録番号 2021-23-5519
 〈編集・発行〉新宿区立中央図書館 東京都新宿区大久保 3-1-1
 電話 (03) 3364-1421
 〈印刷〉株式会社 信 英 堂 電話 (03) 3357-6711

この印刷物は、5,000部印刷しており、その経費として、業者委託による製本経費を含め1部当たり30.8円(税込)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送費等は含んでいません。
 本誌は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

Clover 2022

図書館へ行こう!

新宿区立図書館員が選んだおすすめの本



はなの街オペラ

森川 成美/作 坂本 ヒメミ/画
井上 征剛/監修・解説

くもん出版

神谷はなは14歳で東京の井野家へ奉公に出される。歌が大好きなはなの特技は、耳にした曲を一度で覚えてしまうこと。居候の音楽学校生響之介に歌の才能を見出されたことで、はなの運命は大きく動き始める。目に浮かぶように生き生きと描かれた大正の世相と浅草オペラを背景に、多くの人との出会いを通して成長する少女の物語。

青いつばさ

シェフ・アールツ/作 長山 さき/訳 徳間書店

弟のジョシュは11歳。兄のヤードランは16歳だが心は幼い子どものまま。ヤードランは湖でケガをしていた鶴の子を家に連れ帰る。飛び方を教えている最中、ヤードランはジョシュにケガをさせてしまう。大人達はヤードランを施設に入れようとするが、離ればなれになりたくない2人は、鶴の子を家族に返すための無謀な旅に出た。



気になる本は図書館のホームページで検索してみよう!
 本の予約もできます。

新宿区立図書館

検索

(中高生コーナー) <https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/teen/>

(スマートフォンOPAC) <https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/WebOpac/spopac/index.do>

(スマートフォンOPAC)



友情



みつばちと少年

村上 しいこ／著

講談社

心をうまくコントロールできない雅也は、夏休みにおじの養蜂を手伝うことになる。そこで出会ったのは、さまざまな理由で家族と暮らせない子どもたちだった。「普通に生きる」とは何かを問いかけてくる成長の物語。

謎を求めて



なんで洞窟に壁画を描いたの？ 美術のはじまりを探る旅

五十嵐 ジャンヌ／著

新泉社

歴史好きな中学1年生の理乃は、文化祭の発表のため、祖父と共にフランスにある旧石器時代の洞窟群を見学に行く。理乃の好奇心の数々は、当初の目的を越え、より広い未来へと繋がっていく。知ることの喜びに出会う本。

パラゴンとレインボーマシン

ジラ・ベセル／作 三辺 律子／訳

小学館

色を識別できない少年オーデン・デア。彼の住む世界はロボットに管理されていて、人間は水を求めて戦争をしている。オーデンは天才科学者のおじの死の真相を探るうちに、庭の下からおじが残したあるものを見つける。



クジラの骨と僕らの未来

中村 げん／著

理論社

幼少期から動物の飼育や骨格標本に興味があった少年は、大学でクジラの研究者と出会う。そこでクジラの研究に携わり、ついにはクジラを求めて南氷洋にまで調査をしに行く。興味を突き詰めていくことの楽しさがわかる。



スクールデイズ



夏のカルテット

眞島 めいり／著

PHP 研究所

中学1年生の典は夏休みに図書委員の当番で幹、夏野、佐々矢と一緒にいる。そこで4人は学校の自由課題のためにバンドを結成する。順調に進むなか、バンドの動画がウェブに公開されると幹がバンドを辞めると言い出す。

家族とはなんだろう



神さまの貨物

ジャン＝クロード・グランペール／著 河野 万里子／訳 ポプラ社

強制収容所に向かう貨車から、森に住む貧しい木こりの元に1つの包みが投げ落とされた。その中にはユダヤ人の赤ん坊がいた。子どものいない夫婦は、この子を育てる決心をする。ところが夫婦のもとへ民兵が迫ってきた。

ライブラリー・ツインズ ようこそ、月島大学図書館へ

日野 祐希／著 あけたらしろめ／絵

アリス館

附属高校への内部進学のため、双子の弟と大学図書館でボランティア活動することになった菜織。やることなすこと失敗ばかりで、不安と焦りを募らせていくが、気づかなかった自分の長所を知ることで、思いを新たにする。



海を見た日

M・G・ヘネシー／作 杉田 七重／訳

鈴木出版

ロサンゼルスで里親の元に暮らす少女ナヴェア。年下の里子の面倒や家事に追われているが、自立して家を出ることを夢見ている。そんな中、4人目の里子となった男の子をきっかけにバラバラだった子ども達は変わっていった。



セカイを科学せよ!

安田 夏菜／著

講談社

日本とロシアにルーツを持つ中学2年生のミハイルは目立つのが嫌い。ところが日本とアメリカにルーツを持つ転校生の葉奈は違った。周りを気にせず科学部生物班を復活させる。ミハイルは活動存続を手伝うことになった。



わたしが鳥になる日

サンディ・スターク・マギニス／作 千葉 茂樹／訳

小学館

11歳の少女デセンバーは里親のもとを転々としていた。自分はいつか鳥になって自由に空を飛ぶことができると信じて生きている。しかし、新しい里親や学校の友達との出会いによって、彼女は大きな一歩を踏み出した。